

2014年号

一般社団法人

岡山県電業協会

会報

Vol. 19



犬島精錬所美術館(岡山県)

写真：阿野太一

新春を迎えて・会長	②
新春ご挨拶・岡山県知事	③
社会貢献・防災訓練・清掃ボランティア	④
社会貢献・福祉活動・寄贈	⑤
学校意見交換会・インターンシップ	⑥
技術研修会	⑦
分離発注陳情	⑧

行政研修会	⑨
1級施工・講習会	⑩
視察研修旅行・海外視察研修	⑪
イベント・中国地区協議会・全国会員大会	⑫
国土交通省・防衛省意見交換会	⑬
暴力追放・安全無災害運動	⑭
通常総会・ゴルフ交流会・事務局だより	⑮



新春を迎えて

「夢と生きがいのある
電設業界」を目指そう！

一般社団法人 岡山県電業協会

会 長 松 岡 徹

2014年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素より、会員及び関係の皆様には、弊協会の事業運営にあたり、格別のご支援やご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国は今、アベノミクスによる株価上昇や個人消費の改善も一服感が出ており、本格増税を控え、回復の道筋は見通せない状況にあります。

本年の経済対策として、東日本大震災の復興や学校の耐震化等の安心・安全対策及び2020年東京五輪に向けた諸施策等の「公共事業」に重きを置いている点は歓迎すべきことであります。

このような状況下、建設産業界の大きな課題は、長年の建設投資の減少に伴う受注競争が激化し、就労環境の悪化を招き、他産業を上回る就業者の高年齢化と若年入職者の減少により、人材不足が顕在化していることであります。

私共、労働集約型産業である電設業界が今後とも発展していくためには、将来を担う優秀な人材の継続的な確保と技術・技能の的確な継承が必要不可欠であります。

これらに対応すべく弊協会の具体的事業として、「電気学科系教育機関との意見交換会」での情報交換や「インターンシップ」を受け入れての学生達の職業観・就業意識の向上を図ると共に、「視察研修」や「技術研修会」等を通して、優秀な人材確保と育成に努めて参ります。

いまひとつの大きな課題として、再生可能エネルギーへの挑戦があります。電設業界は、脱原発による電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応し、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組み、新しいビジネスモデルの方向性を模索する時であります。スマートグリッドやスマートシティに関する動向及びメガソーラー、風力発電等の再生可能エネルギーについての先進事例を学び、新たな方向への注力が不可欠であると考えます。このような視点に立って、皆様の安全で快適な生活を支えたと共に、産業基盤を支える重要な役目を果たして参ります。

弊協会は、一般社団法人に移行し2年が経過しました。平成26年度は移行時に策定した公益目的事業支出計画の完遂の年であります。関係各位のご協力により、「公益目的事業」や「業界発展事業」は順調に推移しております。

3年後の平成28年10月には（一社）日本電設工業協会の主催により、「全国会員大会」が当地“岡山”にて開催を予定されております。弊協会は全面的に協力すべく、今後、「お・も・て・な・し」の心で諸準備にかかります。

これからも、会員の皆様と一丸となって渾身の力で“魅力ある協会”へ創造展開して参ります。より一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、希望に満ちた幸多き年になりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

〔旭電業株式会社 代表取締役社長〕



新春ご挨拶

全ての県民が明るい笑顔で暮らす
「生き生き岡山」を目指して

岡山県 知 事 伊 原 木 隆 太

新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、県民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

私が、「生き生き岡山」の実現を掲げ、知事の職に就いてから2度目の正月を迎えました。この1年、私は、岡山県をより良くしたい、もっと元気にしたいとの志で、一心に県政に取り組んでまいりました。企業経営とは違う課題の大きさや幅広さを知り、職責の重さを改めて実感するとともに、県民の皆様の幸せのため、岡山県の発展のために働けることの充実感も感じています。

昨年は、私がかねて申し上げてきた「教育の再生」と「産業の振興」の2つの最重要課題をはじめ、本県の抱える課題の実態把握や分析に力を注ぐとともに、その解決に向けた「新しい種」をまいた1年でもありました。

まず、危機的状況にある教育再生には一刻の猶予も許されないとの思いから、小・中・高等学校を訪れ、現場の先生方の声を直接伺い、児童生徒に語りかけるとともに、県内全市町村の教育長との意見交換を行いました。

また、産業の振興については、企業ニーズの把握に努めながら、環境アセスメントの要件緩和や補助制度の拡充などを行うとともに、本県の安定した操業環境や交通利便性などをトップセールスも交えて積極的にPRし、県南での大手洋菓子メーカーや、県北での真庭産業団地への企業立地につなげることができました。

これらの取り組みを進める中で、私は、岡山県の未来を見据えたとき、この2つの最重要課題を良い方向に動かすことが、子育て支援や医療・福祉サービスの充実、安全・安心を実感できる地域づくりなどに対しても、幅広い波及効果と将来に向けた好循環を生み出すことを改めて確信いたしました。

このたび、県議会や市町村、県民の皆様からご意見をいただいて改訂した「晴れの国おかやま生き生きプラン」では、こうした私の思いを盛り込んだ「教育県岡山の復活」「地域を支える産業の振興」「安心して豊かさが実感できる地域の創造」の3つを重点戦略とする平成28年度までの行動計画など、これからの県が進むべき道筋をお示したところです。

今年は、この新たな羅針盤に沿って、県政の基本目標である全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に向け、さらなる一步を踏み出す年となります。「新しい種」を数多く芽吹かせ、大きく育むとともに、一つひとつ着実に成果を積み上げる1年となるよう全力を尽くしてまいりますので、県民の皆様には、ご理解と力強いご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

社会貢献・防災訓練・清掃ボランティア

緊急連絡網の機能確認と清掃ボランティア、全員参加！

旭川花火大会の翌日、平成25年8月4日(日)午前6時45分より、後楽園、旭川周辺を対象に岡山地域の防災参画会員の48社62名の該当全社が参加して清掃奉仕活動を実施しました。又、平成25年11月3日(日)午前8時より、玉島溜川公園周辺を対象に倉敷及び県西部地域の防災参画会員の9社12名の該当全社が参加して清掃及び菜の花の苗の植付けの奉仕活動を実施しました。

これらの活動は、当協会が防災協定を岡山県（平成21年1月30日付け）及び岡山市〔平成22年6月7日付け）との間で締結し、それに基づき防災参画会員の「災害対策緊急連絡網」が緊急時に機能するか確認すべく、併せて、召集訓練及び清掃奉仕活動を目的に毎年実施しています。



岡山・県東地域参加の全員の皆さん



道路の隅までも



花火大会の後始末、桜並木の下で



倉敷・県西部地域参加の全員の皆さん



会員の手で菜の花の植え付け



平成25年11月6日

関係団体各位

玉島商工会議所
会 長 大 熊 寛

玉島商工会議所
環境問題委員会
委員長 兼 掛 英 雄

拝 啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当所の運営につきましては格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

先日の「第31回溜川清掃大作戦」につきまして公私共にお忙しい中、ご協力いただき誠にありがとうございました。

今後も引き続き溜川清掃活動に取り組んでまいりたいと考えておりますので、本事業に対して引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ではございますが、書面をもちましてお礼申し上げます。

敬 具

礼状

社会貢献・福祉活動

公益目的事業を継続、笑顔と共に！

平成25年11月12日(火)から12月5日(木)の間、県内5ヶ所の福祉施設を対象に会員会社の協力により、電気設備の点検及び電気器具他の寄贈をしました。

この事業は平成7年以降続けて、今年で19回目となります。

平成25年度 社会貢献福祉活動 一覧

分担会社名	動員	贈呈先施設		贈呈品	贈呈日
池田電業(株)	3名	社会福祉法人 清桜会 特別養護老人ホーム「あさひ園」	岡山市北区 旭本町6-20	フット マッサージャー	12/2
(株)中電工	15名	医療法人 三憲会 介護老人保健施設「エリシウム柵原」	久米郡美咲町 吉ヶ原981-1	加湿空気清浄機	11/12
(株)ムラオ電設	3名	社会福祉法人 淳風福祉会 特別養護老人ホーム「若宮園」	岡山市南区 箕島3566-1	デジタルカメラ	11/25
(株)電気工営	3名	医療法人 ふたば会 デイサービス「ラ・クラーク」	岡山市南区 内尾410-10	加湿空気清浄機	11/22
平松電気工事(株)	5名	社会福祉法人 岡山中央福祉会 老人保健施設「さくら苑リハビリセンター」	岡山市東区 西大寺浜261	加湿空気清浄機	12/4

お礼状が
届きました

お礼状が
届きました



六車園長様(左)と
池田電業(株)池田社長(中央)

喜ぶ入園者の皆さん



曾根施設長様(中央右)と
(株)中電工長門部長(左)



電気器具点検



葛原副主任様(後列中)と
(株)ムラオ電設荻野社長(前列左)



青景管理者様(左)と
(株)電気工営大賀専務(右)



職員の皆様と
平松電気工事(株)
平松社長(右)



配線点検

学校意見交換会

アベノミクス効果による雇用拡大を期待！



活発な意見交換

平成25年5月28日(火)午前10時から岡山プラザホテルにて、第22回電気学科系教育機関との意見交換会を開催し、業界側の求人と入社後の育成状況について、及び学校側の求職と教育状況について意見交換をしました。

電気学科系の学生を擁する大学・高専・高校・専門校等17校18名の就職担当の先生方のご出席をいただき、当協会から役員・委員18名が出席しました。

懇談概要

■大学・高専コメント

- ：就職をする意思の無い学生が増えている。
- ：就職先は地元出身地への希望が約7割。
- ：履歴書等の文書が書けない学生がいる。
- ：家庭的で社風の良い会社を選ぶ傾向にある。
- ：電気系に女性が入学して来ている。
- ：就職したい会社を充分研究した上で選択をするよう指導中。
- ：電気系でも異業種（食品系等）へ就職。

■高校・専門校コメント

- ：電気工事士、電気主任技術者を積極的に取得中。
- ：元気で責任感のある生徒を推薦させていた。
- ：大学への進学が8割、就職希望が2割とな

っている。

- ：インターンシップの受け入れをよろしくお願ひします。
- ：電設業界への就職希望が増加傾向（資格取得推進効果）。

■業界コメント

- ：入社後、1～3年で辞めてゆくので、就職させるに当たっては、辛抱も必要と言って欲しい。
- ：女性の採用は可能であり、業務は現場作業、CAD、見積etc。
- ：高校卒業時は電気工事士を取得し、入社後は施工管理技士取得を目指す、向上心のある人を望む。
- ：規範意識をしっかりと持った人を希望。
- ：多種多様な立場の人達との折衝が多く、コミュニケーション力が必要。



即戦力となる人材を
：松岡会長

- ：体力があり、明るく活気のある人であること。
- ：入社後、本人の志望とのミスマッチの無い様、インターンシップ、事前説明会、会社訪問等を活用願ひたい。
- ：電気主任技術者が高齢化してきているので、学校でも推奨願う。

インターンシップ

より高い、人材育成に寄与！

平成25年7月29日(月)から7月31日(水)まで、会員の旭電業(株)と三恭電設(株)の2社が中国職業能力開発大学の学生延べ3名を受け入れ「就業体験」を実施しました。

産学連携で、職業意識の高い人材育成を図るため、就業体験の場を提供するものです。

受け入れ感想：三恭電設(株)

挨拶・身だしなみ等のマナー、勤務態度は非常に良かったと思います。実習では、小学校の設備修繕と新築工事に伴う工事用仮設工事を体験していただきました。

小学校の設備修繕では、新築の現場とは違った天井内配線の難しさを、新築工事に伴う工事用仮設工事では、新しい建物を建設するにあたっての工事用の電気工事が有るということを知ることが出来たのではないかと思います。どちらの工事にしても、作業効率を良くする為に段取りが如何に大切かを学んでいただけたのであれば幸いです。

初めての現場実習で分からない事ばかりだとは思いましたが、自分から積極的に動く姿に、学ぼうとする意欲を感じました。しかし、3日間という短い期間の為緊張が解れなかったのか、積極的な意見・質問がなかったのが少し残念でした。

期待しておられた実習が、充分に行えるような指導が出来たかどうか心配ですが、現場の雰囲気や電気工事の面白さ・大変さを少しでも理解していただけたら幸いです。この実習での経験を活かし、社会に出てからも継続して頑張ってくださいと思います。



女性による“CAD”
熱血指導：旭電業



配線実習：三恭電設

学生の感想

今回のインターンシップでは、CAD、積算、工事の現場の見学をしました。CAD、積算では時間関係でほんの一部しか学ぶことができませんでした。CAD、積算のときはミスで大変な損害になってしまうということを知りました。(中略)
そこで見た物はすべて初めて見るものはかりで、学校には学ぶことができない、現場の雰囲気や現場の人の生の声を聞くことができ、自分の仕事が形になったことは嬉しい。つらいときは時間が無く遅くなってしまうことなどを聞くことができた。(中略)
今回のインターンシップで学んだことを1つの材料にして就職活動をやりたいと思います。そして就職後も現場の人に教えていただいた、コミュニケーション能力を、そして素直なことを大切にしていきたいです。

技術研修会

スマートグリッド・コミュニティ・ハウスの最新技術情報！



研修会会場

平成25年12月3日(火)午前10時から12時30分まで岡山プラザホテルにて技術研修会を開催しました。

当日は76名が出席し、スマートグリッドやスマートコミュニティの最新技術や原子力発電の再稼働問題としての安全対策を研修しました。

今後の再生可能エネルギーの技術革新を模索している現在、時宣になった大いに興味ある内容でありました。



冒頭の挨拶：松岡会長



司会：牧野技術副委員長



閉会の挨拶：長門技術委員長

研修テーマ

1. スマートグリッドの現状について

中国電力株式会社 経営企画部門技術企画担当専任係長 平川雄司様

- ①スマートグリッド／スマートコミュニティ
- ②再生可能エネルギー大量導入へ向けた取り組み
- ③スマートメーター／スマートハウス
- ④スマートコミュニティ構築へ向けた実証実験 ほか



スマートグリッドの現状：平川講師

2. 電気事業を巡る最近の情勢について

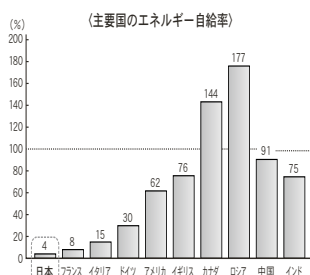
中国電力株式会社岡山支社 副支社長 光岡敏祐様

- ①東日本大震災の概要
- ②福島第一原子力発電所事故の概要
- ③原子力発電を巡る世論の動向
- ④原子力発電所の新規制基準の概要
- ⑤2013年度冬季需要見通し
- ⑥中国電力の決算概要とコスト削減の取り組み
- ⑦電力自由化の動き
- ⑧日本のエネルギー自給率 ほか



電気事業を巡る最近の情勢：光岡講師

日本のエネルギー自給率



日本のエネルギー自給率はわずか4%。世界の主要国と比べても極端に低く、国内で消費するほぼ全てのエネルギーを海外に依存しています。

(注1) 原子力を除く
(注2) 100%以上はエネルギーの純輸出国であることを指す

出典：IEA Energy Balances of OECD Countries 2009号

2013年度冬季需給見通し

(万kW)	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
供給力	604	1,500	5,424	2,502	550	2,655	1,141	542	1,584	207
最大電力需要	563	1,378	4,920	2,355	519	2,576	1,052	506	1,536	115
予備力	41	122	504	147	31	79	89	36	48	92
予備率	7.2%	8.9%	10.2%	6.3%	6.0%	3.0%	8.5%	7.2%	3.1%	80.6%

(2013年11月1日 電力需給に関する検討会合資料より)

分離発注陳情

分離発注の浸透に向けた提案力の強化を！

平成25年度
「市町村における分離発注の現状」調査結果

(一社)日本電設工業協会 (一社)岡山県電業協会

都道府県	市町村数	原則分離発注	分離発注率(%)	順位
北海道	179	174	97.2	6
青森	40	36	90.0	12
岩手	33	29	87.8	14
秋田	25	18	72.0	47
宮城	35	30	85.7	18
山形	35	34	97.1	43
福島	59	36	61.0	10
石川	19	15	78.9	39
富山	15	33	94.2	9
福井	54	32	59.2	37
岐阜	29	15	51.7	40
栃木	42	27	64.2	32
群馬	19	14	73.6	24
東京都	26	17	65.3	29
奈良	39	7	17.9	47
大阪	43	25	58.1	38
和歌山	30	9	30.0	45
兵庫	41	16	39.0	41
岡山	27	10	37.0	42
広島	19	12	63.1	33
山口	19	16	84.2	25
徳島	23	16	69.5	23
香川	19	16	84.2	25
愛媛	17	13	76.4	28
高知	24	18	75.0	30
福岡	20	16	80.0	21
佐賀	15	14	93.3	7
大分	21	21	100.0	1
熊本	26	23	88.4	13
鹿児島	43	42	97.6	5
沖縄	41	41	100.0	1
合計	1733	1254		
構成比	100%	72%		

全国42位

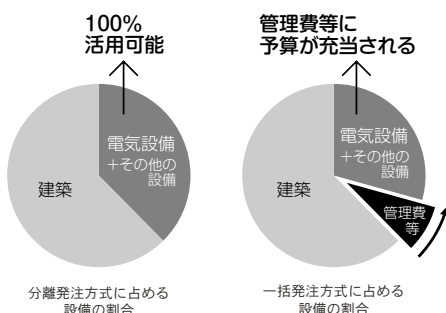
平成25年7月11日(木)から延べ3日間、役員及び会員の協力により、岡山県庁、岡山市及び国土交通省の出先機関に対し”分離発注の継続”をお願いし、更に、分離発注に消極的な自治体を訪問し、各々の首長に”分離発注導入”の陳情をしました。

- 現在の県内の各市町村の数に於ける分離発注の状況は左表の通り37%（全国42位）です。
- 県内での電気工事年間発注総額の90%前後は、既に分離発注を導入している国・県・市で占めております。



岡山県の是清建築営繕課長へ陳情

分離発注方式を選択するメリット



分離発注方式のメリットは、設備の予算が確定できることです。これにより設備のために組まれた予算を100%活用することができます。このため、お客様のご要望に応える設備を提供できます。

一括発注方式の場合

建築コストの増加が発生した際に、設備の予算を利用して対応することが多くなります。これでは、設備内容がお客様の望んでいたものと違ったものになってしまいます。

平成25年度 分離発注陳情 訪問概要

訪問日	陳情者	訪問先
7月11日(木)	★旭電業(株)〔松岡会長〕 平松電気工事(株) (株)電気工営・(株)中電工・事務局	岡山県(延べ10部署) 岡山市(延べ5部署) 国土交通省(営繕・国道)
7月12日(金)	★(株)中電工〔長門副会長〕 平松電気工事(株)・(株)戸川電工・旭電業(株)	総社市・高梁市・新見市・真庭市・美咲町
7月16日(火)	★(株)中電工〔長門副会長〕 平松電気工事(株)・中央電気(株)・(株)電工	赤磐市・備前市・瀬戸内市・美作市

※ ★印は当日リーダー



岡山市へ陳情



国土交通省岡山営繕事務所 畑見所長へ陳情

行政研修会

国や県の今年度の入札制度と暴力団対応を研修!



冒頭の挨拶：松岡会長

平成25年6月27日(木)9時20分から12時30分まで、岡山プラザホテルにて会員72名が出席し、恒例の「会員行政研修会」を開催しました。



司会進行：花尾政策副委員長

研修テーマ

1. 国土交通省営繕工事における入札契約制度について ～平成25年度の入札・契約方針～

国土交通省中国地方整備局 岡山営繕事務所 技術課 課長 山本智久 様

- ①入札落札方式の経緯
- ②入札参加資格要件の見直し
- ③工事の総合評価落札方式の概要・タイプと選定
- ④技術評価点の配点方針
- ⑤現場従事技能者評価型総合評価落札方式の試行
- ⑥施工体制確認型の試行



国土交通省：山本講師

2. 岡山県における今年度の建設工事の入札制度について

岡山県土木部都市局 建築営繕課 課長 是清 肇 様

- ①建設工事に係る入札方式
- ②平成25年度の建設工事に係る入札・契約制度の見直しについて
- ③平成25年6月建設工事に係る入札制度の見直しについて
- ④工事等の金額入り設計書、予定価格書の閲覧について
- ⑤建築営繕課発注工事における一般競争入札参加資格申請の主な間違い事例



研修会会場



岡山県：是清講師

3. 岡山県における暴力団情勢と不当要求に対する対応要領について

岡山県警察本部刑事部組織犯罪対策第二課 暴力団排除対策官 警部 三村淳一 様

①基本的対応の大原則

暴力団等から不当要求を受けた場合、担当者が個人的に対応したり、担当者のみに責任を押し付けることは最も避けるべき。事前に対応策を決め、組織として対応することが何よりも大切。

②平素の準備

i、トップの危機管理 ii、体制作り iii、暴力団排除条項の導入 iv、警察・暴追センターとの連携

③有事の対応要領

i、来訪者のチェックと連絡 ii、相手の確認と用件の確認 iii、対応場所の選定 iv、対応の人数 v、対応時間 vi、言動に注意する vii、書類の作成・署名・押印は禁物 viii、トップは対応させない ix、即答や約束はしない x、湯茶の接待をしない xi、対応内容の記録化 xii、機を失せず警察に連絡



岡山県警察本部
：三村講師



閉会の挨拶
：平松(前)政策委員長

1 級施工・受験準備講習会

益々高まる資格取得の重要性！

「平成25年度 1 級電気工事施工管理技術検定試験・受験準備講習会」を開催しました。
県内各地から、そして鳥取県、香川県、広島県からも参加があり述べ77名が受講しました。

講習会概要

	講習日	受講者数	講師陣	場所
学科講習	平成25年 5 月15日(水)～ 5 月17日(金)〔3 日間〕	43名	延べ 6 名(9 科目)	コンベックス岡山
実地講習	平成25年 9 月12日(水)〔1 日間〕	34名	延べ 3 名(5 科目)	



開会の挨拶
：長門技術委員長



講習会の会場



受付担当：羽鳥委員



受付担当：福田委員と犬養委員



熱心に指導：青山講師



質問個人指導：青山・河崎両講師



ベテラン講義：河崎講師



合格の秘訣伝授：石田講師



添削個人指導：石田講師

平成26年度の受験準備講習会募集！

今年も多数の参加をお願いします。詳細案内は 2 月中旬頃の予定です。

	講習日	場所
学科講習	平成26年 5 月14日(水)～ 5 月16日(金)〔3 日間〕	コンベックス岡山
実地講習	平成26年 9 月11日(水)〔1 日間〕	

視察研修

最先端技術、これからの新幹線車両の製造工程を視察！

平成25年11月7日(木)に技術研修の一環として会員24名が山口県下松市にある「(株)日立製作所交通システム社 笠戸事業所」を視察しました。

初めに、同社技術部大道部長代理様他のご挨拶や工場概要の説明を受け、広大な敷地をバスで移動しながら工場内の見学をさせていただきました。

主に、2015年春開業の北陸新幹線、山形新幹線や阪急電鉄等の新型車両の組み立て製造工程を見て理解を深めました。



高度な製造技術を研修

モノレール車両と共に
：視察参加の会員



視察研修旅行記

(技術委員) タイセイ電工株式会社：犬養 弘之

11月7日(木)8日(金)の二日にかけて広島山口方面に視察研修旅行に行っていました。

諸事情により2年振りの視察旅行です。参加者は、松岡会長はじめ総勢24名です。

7日早朝よりバスにて岡山を出発し、倉敷駅を經由し一路宮島へ、「秋の宮島」を眺めながらの昼食です。「牡蠣鍋」はみなさん絶賛でした。

午後から山口県下松市にある(株)日立製作所 笠戸事業所の視察です。ここは鉄道マニアの聖地ともいえる場所でモノレールに始まり各都市の私鉄、JRの新幹線まで製作しています。

創業は1917年(大正6年)日本汽船(株)笠戸造船所として起業して一艘も船を創ることなく3年後の1920年(大正9年)に12トンタンク式蒸気機関車を完成させたそうです。翌年には(株)日立製作所笠戸工場となり鉄道車両の製造を開始し、1957年(昭和32年)より化学装置の製造にも着手し1963年(昭和38)には東海道新幹線電車を完成させました。その後もクレーン及び輸送荷役設備の製造、半導体製造装置の製造にも手がけ2003年には新幹線製作2,000両を達成し現在では、海外にも鉄道車両を輸出しているそうです。

場内はどこに行っても電車、電車…見たことある車両、初めて見る車両、

新幹線…、鉄道マニアでなくてもわくわくします。当然敷地も広大で見学施設の移動も岡山から乗ってきた玉虫色のバスに乗って移動します。ちなみに広さは520,000㎡。マスカット球場の約34倍!!(東京ドーム行ったことないんです。すみません)

もひとつちなみに新幹線は16両セットで製作し線路の上を走り続ける限り一生そのセットのままだそうです。価格は約45億円だそうです。

技術的な面では車両本体はアルミニウムのハニカム構造一体成型(段ボールの断面みたいな感じです。)で、マイクロプラズマエッチング…まあ特殊な溶接技術で組み立てます。他に、作業効率、安全性を考慮し、私鉄や在来線などの天井部分の艤装は車両ごとひっくり返して取付しています。発想の転換は参考になりました。

みなさん機会があれば是非訪れてください。

宿泊は山口の名湯湯田温泉、かめ福です。「浴衣」・「宴会」・「温泉」。人との親睦を深めるには欠かせません。満喫しました。

翌日は観光組とゴルフ組に分かれ地元の風土と人々との触れ合いを研修させていただきました。

今回残念ながら参加できなかった方次回は是非ご参加ください。電業協会の視察研修旅行は、とても充実した旅行ですよ!

最後になりましたが、視察研修旅行をご案内したところ、快くご参加いただいた、賛助会員のみなさま、ありがとうございました。

紙面をお借りして、御礼申し上げます。

海外視察研修

新エネルギー、波力発電・潮流発電や洋上風力発電所を視察！

当協会の松岡会長は、平成25年10月12日(土)から8日間の日程で、英国に(一社)日本電設工業協会の第58次海外電設視察団(総勢19名)の一員として参加し研修しました。



“海ヘビ”発電の説明を受ける



ペラミス社にて視察団一行



NaRECセンターにて

主な視察場所

①エンジンバラ ペラミス・ウェーブ・パワー社

ー波力発電、巨大機械仕掛けの“海ヘビ”でクリーン発電ー装置の半分は水面下にあり、複数の円筒を滑節で接続した接続構造で構成され、総設備容量は2.25MW。波力発電は予測可能で安定した発電能力を有し、景観や海洋生物への影響が少なく、クリーンな再生可能エネルギーとして期待されます。

②ブライス 国立再生エネルギーセンター(NaREC)

ー洋上再生エネルギーサイト、英国初の洋上発電サイトー洋上風力、波力、潮力、マイクロ発電等エネルギー源のテストサイトとして国際的に認知・評価されています。最先端の再生可能エネルギー技術の商業化に向けた国立開発・テストセンターです。

イベントおかやま

「創造都市おかやま再生」!

まちづくりフォーラム2013と題し、平成25年11月9日(土)・13日(水)・16日(土)に、おかやま建築5会(岡山県建築士会他)とNPO法人まちづくり推進機構岡山主催によるイベントが催されました。

当協会からは協賛団体として、ルネスホールに於いて、11月13日(水)午後6時30分からの演題「再生のまちづくり」の講演会に会員2名が参加しました。

都市計画に詳しい元愛知産業大大学院教授の延藤安弘氏が住人同士のつながりを生むまちづくりの大切さを訴えました。講演は、照明を抑えてピアノ演奏が流れる中で話す独特のスタイルで行われ、市民ら約100人が聴きました。



講演会会場

(一社)日本電設工業協会中国支部地区協議会

全国会員大会3年後(平成28年)、岡山にて開催!

平成25年12月6日(金)午後4時から、リーガロイヤルホテル広島にて中国支部地区協議会が開催されました。中国地区各県の会長他役員23名が広島へ集合し、活発な意見の交換を交わしました。冒頭に神出支部長〔㈱中電工社長〕が挨拶し、次に松岡副支部長〔当協会会長〕が海外視察の報告をしました。



中国5県の役員による協議風景

- 議題 ①本部並びに支部活動中間報告
②平成28年度会員大会〔3年後、(一社)日本電設工業協会が主催し"岡山"にて開催〕について
③中国地方整備局との防災協定について その他
当協会から正・副会長の3名が出席しました。

(一社)日本電設工業協会 全国会員大会

全国から500名余りの会員が集結!

平成25年10月31日(木)午後3時から、東京都港区のホテルグランパシフィック・ダイバで「一般社団法人日本電設工業協会平成25年度会員大会」が会員企業など500名余りの参加を得て盛大に開催されました。当協会からは松岡会長が出席しました。

来賓として、屋敷国土交通省建設市場整備課長をはじめ、渡邊経済産業省商務流通保安グループ電力安全課長、安藤東京都副知事、武井港区長他が出席されました。

- 山口会長〔㈱関電工会長〕の冒頭の挨拶では「自然災害に対する安全対策やサポート体制の充実を図るとともに、東京オリンピック招致を踏まえ、協会が取り組む課題として人材の確保・育成、分離発注の推進、適正価格・適正工期での受注確保」などを述べられました。
- その後、「スマートグリッドの現状と取り組むべき課題について」をテーマに後藤技術・安全委員会副委員長から、また、「これからの、地域に密着した企業集団の姿とは～業界団体の進むべき道を探る～」をテーマに五十嵐(一社)千葉県電業協会副会長から基調報告があり、4つの重点目標の達成に向けたアクションを推進する会員大会決議案が井上運営委員長〔日本電設工業(株)会長〕から提案され、満場一致で採択して会員大会は終了しました。
- 大会終了後、野球評論家の村田兆治氏から「人生先発完投」と題した記念講演があり、その後、会員懇親会が行われて幕を閉じました。
- 今年の会員大会は平成26年10月16日(木)ヒルトン大阪(大阪市)にて開催されます。



大会会場

国土交通省意見交換会

国へ業界から多数の要望！



意見交換会会場

平成25年9月26日(木)午後2時30分から、広島のカカRホテルにおいて、国土交通省中国地方整備局営繕部（出席者9名）、（一社）日本電設工業協会中国支部（出席者7名）及び（一社）日本空調衛生工事業協会中国支部（出席者7名）との間で、第11回意見交換会が開催されました。

冒頭、山本（一社）日本空調衛生工事業協会中国支部長及び大町国土交通省中国地方整備局営繕部長が、挨拶されました。

当協会から平松（前）副会長が出席し、意見要望を述べました。

終わりに、神出（一社）日本電設工業協会中国支部長が挨拶され閉会しました。

業界要望事項(抜粋)

- ①2億円を超える工事に於いて工事難易度Ⅰ又はⅡの場合は、A又はB等級とも入札参加させて頂きたい。
- ②簡易な図面等による工事内容ではなく、正規な特記仕様書・図面・内訳を入札公告時点で提示して頂きたい。
- ③工事発注時期の平準化は、技術者の配置に苦慮する必要がなく、建設コスト、労働災害、環境負荷等を低減する意味からも有効と考えます。発注時期の平準化について、ご検討をお願い致します。
- ④事後公表される工事費内訳（機器費・メーカー・型式等）の金額根拠を明確にして頂きたい。
- ⑤設計図と現場の相違が大きく施工前の調査、確認に時間を要する為、設計図の高精度化を要望します。
- ⑥改修工事及び耐震改修工事等に於いては、十分な既存調査をお願いしたい。
- ⑦入札参加に於ける同種工事の実績を、より緩和願いたい。
- ⑧工事規模の大小に係らず、現場関係書類が多く、中小規模での現場書類の削減をお願いします。

防衛省意見交換会

第2回目の開催、中国・四国の電設業界として要望！

平成25年10月4日(金)午後1時30分から、広島の中国四国防衛局調達部会議室において、防衛省中国四国防衛局（出席者6名）、（一社）日本電設工業協会中国支部（出席者5名）及び同協会四国支部（出席者3名）との間で、第2回目の意見交換会が開催されました。

冒頭に中国四国防衛局の北浦調達部次長が挨拶をされ、各自、自己紹介のあと、議事に入りました。

業界要望事項(抜粋)

- ①若手技術者評価型総合評価方式の導入の予定はあるか。
 - ②詳細図作成業務・積算が終了後に局・米軍からの要望による設計変更は、追加の設計積算業務として予算計上し、発注して頂きたい。
 - ③入札時の現場説明書にある工期は、あくまでも契約時の図面と金額に対してのものです。設計変更等が発生し、請負金額が増額となった場合は当然契約工期も延びるはずなので、その工期による経費精算をお願いしたい。
 - ④通常の新築建物の工事エリアには、建築・土木・電気・機械・通信工事があり、工期未設定ですが、建築工期末と同じ時期に設備工事の業者が終了させることは出来ません。
- 建築・土木工事との工期末に差異をつけるようお願いしたい。



意見交換会会場

暴力追放・安全衛生推進

『「暮らしやすさ日本一」の岡山』の実現を目指して！

暴力追放運動

平成25年11月13日(水)午後1時30分から(公財)岡山県暴力追放運動推進センター主催による「平成25年岡山県暴力追放・銃器根絶運動推進県民大会」が岡山衛生会館・三木記念ホールで開催され当協会から2名が出席しました。

同センター名誉会長兼推進本部長の伊原木隆太知事が「暴力団を追放し、拳銃等の違法な銃器を根絶した安全で住みよい地域社会の実現は、県民すべての願いである」と挨拶されました。その後、小島隆雄岡山県警察本部長による「暴力団対策・銃器対策の現状と今後の取組」について説明がありました。

第2部として、プロ野球解説者達川光男氏による『苦しみを笑いに変えた野球人生』と題して講演がありました。

三不運動プラス1

暴力団を恐れない
暴力団に金を出さない
暴力団を利用しない
+1 暴力団と交際しない



暴力追放県民大会会場



推進本部長：伊原木隆太知事



暴力団の現状：小島県警本部長



講演：達川光男氏

安全・無災害運動

平成25年10月2日(水)午後1時から岡山ふれあいセンターにおいて、県下各地から関係者338名が参加して「第4回『リスクにチャレンジ！岡山』運動推進大会」(主唱：建設業労働災害防止協会岡山県支部)が開催され、当協会から3名が出席しました。

冒頭、村社岡山県支部長が「店社・作業所において、経営者及び労働者全員がリスクアセスメントに取り組み、労働災害を撲滅しなければならない。」とリスクアセスメントの定着、実践への決意を表明し、続いて上市厚生労働省岡山労働局長、渡邊国土交通省岡山国道事務所長、三村岡山県土木部技術総括監より祝辞がありました。

その後、企業による「我が社のリスクアセスメントの取り組み状況」の発表等があり、荒木副支部長の閉会の言葉で盛会裏に終了しました。

スローガン

“みんなで探そう職場のリスク! 実行しよう低減対策!”



推進大会会場



開会の挨拶：村社支部長



祝辞：上市岡山県労働局長

通常総会・ゴルフ交流会

公共目的事業支出、着実なステップ、平成26年度完遂！

第3回 通常総会

平成25年6月18日(火)午後5時から岡山プラザホテルにて、第3回通常総会を開催しました。

■当日の出席者33名（他に委任状出席12名）により、次の議案を審議し議決しました。

- 〔議 事〕 第1号議案 平成24年度 事業報告案承認の件
 第2号議案 平成24年度 決算案承認の件
 第3号議案 平成24年度 公益目的支出計画実施報告案承認の件
 第4号議案 役員補充選任案承認の件

- 〔報告事項〕 ①平成25年度 事業計画の件
 ②平成25年度 予算の件



第3回通常総会会場と冒頭挨拶：松岡会長



懇親会会場と締め挨拶：平松(前)副会長



懇親会乾杯
：福田顧問



総会の司会
：瀬戸口総務委員



懇親会司会
：櫻間総務委員

第9回 ゴルフ交流会

平成25年6月4日(火)午後9時04分から岡山金陵カントリークラブにて、第9回ゴルフ交流会を開催しました。

■会員、賛助会員24名が参加し、ベストコンディションの中、会員相互の交流を深めました。



第9回交流会参加の会員



⑤準優勝：櫻間さん
⑥優勝：瀬戸口さん
⑦第3位：西本さん

第10回 ゴルフ交流会

平成25年12月5日(火)午前8時56分から岡山金陵カントリークラブにて、第10回ゴルフ交流会を開催しました。

■会員、賛助会員25名が参加し、小春日和の快適な中、好プレー珍プレーを発揮しながら会員相互の交流を深めました。



第10回交流会参加の会員



⑤準優勝：長門さん
⑥優勝：宮田さん
[中建日報]
⑦第3位：川口さん

事務局
だより

平松副会長(理事)[前・平松電気工事(株)代表取締役]がご退任！

当協会の副会長、理事を永年つとめて頂いた平松力夫様が去る平成25年10月31日に都合により退任されました。

協会の発展の為に、数々のご尽力を頂き、御礼と感謝を申し上げる次第です。
 尚、後任については、今年の役員改選まで空席と致します。

犬島「家プロジェクト」

犬島「家プロジェクト」は、岡山県・犬島の集落に展開する集落再生プロジェクトです。アートディレクター・長谷川祐子、建築家・妹島和世が風景を変容活性化させるギャラリーを犬島の集落に点在させます。

現在、「F邸」「S邸」「I邸」「A邸」「C邸」の5つのギャラリーと「石職人の家跡」に、5人の作家の作品を展示しています。

犬島「家プロジェクト」は、犬島を訪れる方々や住民の皆様が「日常の中の美しい風景や作品の向こうに広がる身近な自然を感じられるように」との願いが込められています。



犬島「家プロジェクト」F邸

写真：Takashi Homma



犬島「家プロジェクト」A邸/荒神明香「リフレクトゥ」2013

写真：Takashi Homma

表紙写真

犬島精錬所美術館は、犬島に残る銅製錬所の遺構を保存・再生した美術館です。「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトのもと作られた「美術館」は既存の煙突やカラミ煉瓦、太陽や地熱などの自然エネルギーを利用した環境に負荷を与えない三分一博志の建築と、日本の近代化に警鐘をならした三島由紀夫をモチーフにした柳幸典の作品、また植物の力を利用した高度な水質浄化システムを導入しています。「遺産、建築、アート、環境」による新たな地域創造のモデルとして、循環型社会を意識したプロジェクトといえます。

写真提供：公益社団法人福武財団

一般社団法人 岡山県電業協会

事務局 〒700-0953 岡山市南区西市 430

電話 (086)244-4838 番 FAX (086)245-9136 番

E-mail info@okadenkyo.or.jp URL http://www.okadenkyo.or.jp

編集発行人 総務委員会



この印刷の一部には水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。



この印刷には、環境にやさしい植物油インキを使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。